

シーシーエス (コード 6669 ジャスタック)

業績推移 (連結)

(予想数値は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常利益		当期利益		一株当利益	一株当配当	配当性向
		伸び率		伸び率		伸び率			
07.1(中)	2,526	+17.2	392	+31.7	219	+5.1	10,698.4	-	-
08.1(中)	2,723	+7.8	401	+2.4	261	+19.1	12,812.7	-	-
07.7	5,185	+7.4	721	-10.8	431	-17.8	21,016.6	2,000.0	9.5
08.7(予)	5,800	+11.9	780	+8.2	500	+16.0	24,271.8	2,000.0	8.2

画像処理用 LED 照明装置でトップ

特色...LED (発光ダイオード) 光源を利用した画像処理用照明装置のトップ (国内シェア約 60%)。製造・集光・放熱・ライティング (光の当て方) の技術に強みを持つ。電子部品・半導体向けを主力に、自動車向け、食品・薬品・化粧品向けなど、多様な工業製品の検査用途に展開。

08 年 1 月中間期は減益予想から一転、増益に

国内向けなどの好調で増収増益に...08 年 1 月中間期は、売上高が 07 年 1 月中間期比 7.8%増 (期初予想は 12.8%増) となった。分野別売上については、国内での工業用 LED 照明事業が 18 億 2,100 万円 (07 年 1 月中間期比 11%増) 海外での工業用 LED 照明事業が 8 億 4,600 万円 (同 8.9%増) に拡大したのに対し、新規事業は 5,600 万円 (同 47.2%減) にとどまった。売上高が期初予想を下回ったのは、新規事業において顕微鏡用照明が大手ユーザーの在庫調整の影響で売上減となったことや、農業 (バイオ) 関連の照明も全般に低調な推移となったことなどによる。一方、組織強化のための人件費増加や研究開発費増加などから販売管理費が前年同期比 14.5%増となったものの計画比 14.5%減にとどまったことや、売上原価の削減努力による売上原価率の低下 (07 年 1 月中間期 : 37.6% 08 年 1 月中間期 : 34.5%) もあり、経常利益は 07 年 1 月中間期比 2.4%増 (期初予想 : 07 年 1 月中間期比 38.8%減) と、減益予想が一転して増益となった。

通期も LED 照明の好調で増収増益へ

通期業績予想も修正...この下半期 (08 年 2~7 月) は、売上高が 30 億 7,700 万円 (前年同期比 15.7%増) 経常利益は 3 億 7,900 万円 (同 15.2%増) と好調に推移する見込みで、今 7 月期の通期業績については、上表のとおり、売上高が前期比 11.9%増 (期初予想 : 19.6%増) 経常利益は同 8.2%増 (期初予想 : 6.8%増) の見通し。分野別の通期売上予想は、国内での工業用 LED 照明事業 : 38 億 4,000 万円 (前期比 15.1%増) 海外での工業用 LED 照明事業 : 18 億 5,000 万円 (同 13.5%増) 新規事業 : 1 億 1,000 万円 (同 49.5%減) 工業用 LED 照明事業については、国内初の大型ドーム照明を実現した「ハイパワーライト 250 / 400」全 12 機種を今年 3 月 3 日に発売開始。国内向けが堅調に推移しているほか、電子・半導体関連メーカーを中心にカスタム対応が増えている欧州向けや、徐々に売上寄与度の高まっているアジア向けなど海外市場も伸びそう。開発案件の投資計画・人員計画を遂行する一方、引き続き売上原価低減に努めるほか、販売管理費の計画を見直し、一層の業務効率化によって費用増を抑制する方針。年間配当は 2,000 円の予定。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。